

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和5年8月8日(2023.8.8)

【公開番号】特開2022-26024(P2022-26024A)
 【公開日】令和4年2月10日(2022.2.10)
 【年通号数】公開公報(特許)2022-025
 【出願番号】特願2020-129289(P2020-129289)
 【国際特許分類】
 A 6 3 F 7/02(2006.01)
 【F I】
 A 6 3 F 7/02 3 1 1 A

10

【手続補正書】
 【提出日】令和5年7月28日(2023.7.28)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項1】

20

遊技球が通過可能な通路の分岐部を有する遊技機であって、前記分岐部で分岐した一方の前記通路の入口部分の前後方向の幅を狭くすることで、前記一方の通路への遊技球の進入を規制して、前記分岐部で分岐した他方の前記通路へ遊技球を進入させ易くする進入規制部を有する遊技機。

【請求項2】

所定領域への遊技球の入球に起因して実行される当否判定の結果に応じて開放され、遊技球が前記一方の通路に進入するよりも前記他方の通路に進入した方が入球し易い特定入球部を有する請求項1に記載の遊技機。

30

【請求項3】

第1の前記進入規制部により遊技球の進入が規制された前記通路の先にも、前記分岐部が設けられ、その分岐部に対して第2の前記進入規制部が設けられ、当該分岐部で分岐した前記一方の通路に進入した遊技球よりも当該分岐部で分岐した前記他方の通路に進入した遊技球の方が入球し易い入賞部を有する請求項1又は2に記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0005
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0005】

40

上記課題を解決するためになされた発明の一態様は、遊技球が通過可能な通路の分岐部を有する遊技機であって、前記分岐部で分岐した一方の前記通路の入口部分の前後方向の幅を狭くすることで、前記一方の通路への遊技球の進入を規制して、前記分岐部で分岐した他方の前記通路へ遊技球を進入させ易くする進入規制部を有する遊技機である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0006
 【補正方法】削除
 【補正の内容】

50